

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
南区の特性を活かした健康づくり推進事業		南区役所企画総務課				
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30	
南区の公園や緑道、歴史文化資源を活用したウォーキングマップの作成や、高齢者や親子で体を動かす体験の場を提供するなど、健康づくりの啓発を行うことで、日常生活の中での継続的な健康づくりを推進する。	(1)南区出張子どもプレイパークの実施 (2)泉北フォトラリーの実施	参加者数(延べ人数)	-	(1)1,730人(3回) (2)-	(1)960人(2回) (2)17人(4回)	
		参加者アンケート (大変満足・満足の合計)	-	(1)83% (2)-	(1)87.5% (2)76%	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○	本事業は、区民評議会の答申・区教育健全育成会議の提言を受け、区民の継続的な健康づくりを推進するために新たに実施したもので、区として実施すべきものである。	◎	(1)子育てひろば等ボランティアの方に参画いただき、乳幼児向けの催しを実施できた。 (2)庁内の関係部署のほか、泉北高速鉄道やURの管理事務所等にパンフレットの配架を協力いただいた。	◎	(1)子どもが公園で普段できない遊びや、様々な世代と交流する機会となった。 (2)緑道は車が通らず安全で、静かで景色がよく、歩くだけで運動になることなどの実感や、新たなスポットの発見にもつながった。	
△	(1)公園で行うイベントとの同時開催を試みたが、日程が合わずに別日開催となった。 (2)フォトラリーのアンケートで関連事業への意見を聴取した。					
⑤自立発展性	総合評価					
◎	(1)知識やスキルを提供することで、有志による企画運営も期待できる。 (2)広告料収入など事業の採算性があれば民間事業者で取り組むことも可能である。	○	(1)親は子どもの外あそびの機会や場所を求めており、プレイパークは親子で公園に行くきっかけになった。また、自然の中で身体を動かす楽しさや、子ども同士はもとより、異世代交流する楽しさも体験していただく機会となった。 (2)フォトラリーの参加者数は少なかったものの、1年間で緑道マップは約7,000部、ガイドブックは約4,600部を配布し、区内の公園や緑道、歴史文化資源など魅力をPRできた。			
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	(1)「プレイパークが定期的実施されれば参加したい」と回答が90%を超え、事業の継続が望まれているが、現状のままでは一過性のイベントで終わってしまう。日常的な運動習慣に発展させるためには、身近な公園で子どもが安全で楽しく外あそびができる環境づくりが課題であると考えられる。 (2)フォトラリー参加者の約7割が50代・60代であったことから、まち歩きに関心のあるこれらの層に見合った参加手法を検討することで、自主的なまち歩きやウォーキングの取組みが広がる可能性がある。					